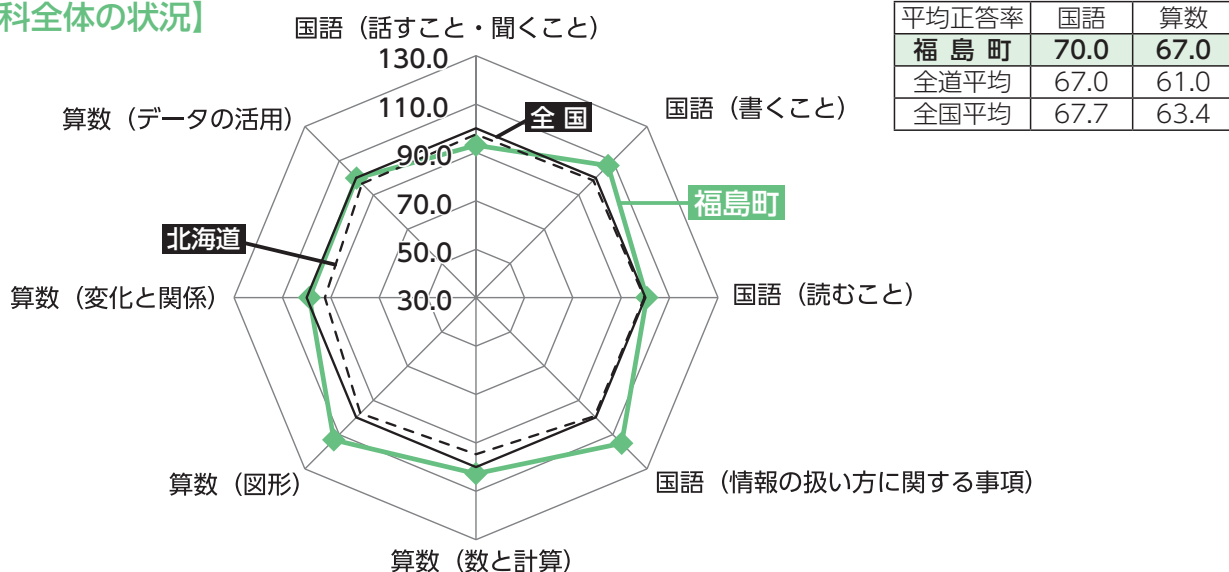


令和6年度 全国学力・学習状況調査

■福島町小学校の状況（小学校数：1校、児童数：15人）

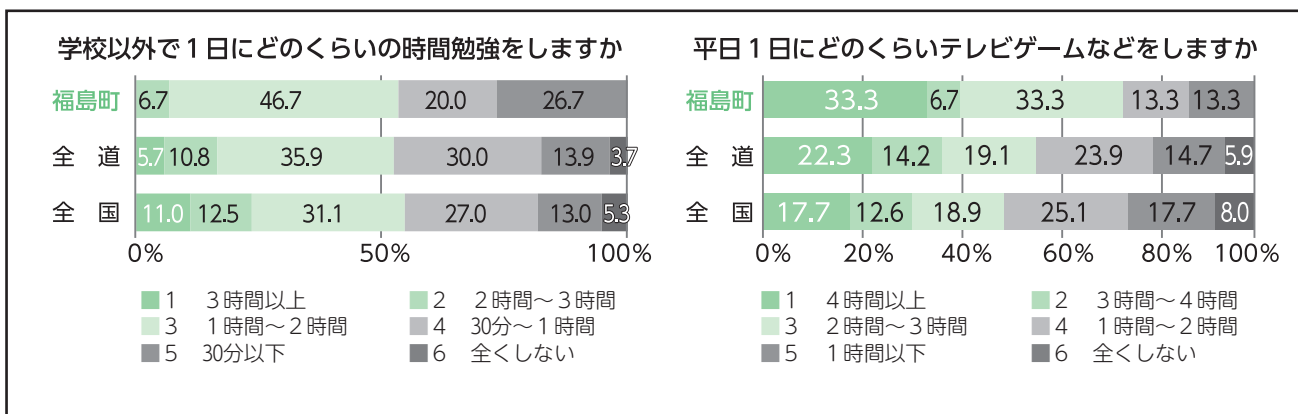
【教科全体の状況】



教科の領域別に全国を100とした場合の全道および市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

国語	<ul style="list-style-type: none"> 教科書などより得た情報からわかることを友達と交流し自分の考えと比べるなどの学習活動の充実を図ったことにより、国語の「情報の扱い方に関する事項」の領域で、平均正答率が全国および全道平均を上回ったと考えられます。 「話すこと、聞くこと」の領域において、グループ学習やディベートを積極的に取り入れ、話し手・聞き手共に要点を意識し相手からのフィードバックを受け入れながら学習を進めます。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な計算の振り返りをこまめに各単元で行ったことや、その図形の特徴を繰り返し問う取り組みを行ったことにより、「数と計算」・「図形」の領域で全国の平均正答率を上回ったと考えられます。 グラフから必要とされる数値を読み取ったり、問題場面の数値の関係性をとらえたりするなどの取組を視点や見方、考え方を明確にしながら進める学習に取り組めます。
今後の取り組み方策	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 児童の個別最適な学びを推進するためにICT機器を有効活用します。 ◎ 児童が自己肯定感を持ちながら主体的に学ぶ授業づくりに取り組めます。 ◎ 児童の確かな学力の定着を図るために、教員の授業力向上に取り組めます。

【児童質問紙の状況】



- ・学校以外での1日の勉強時間について、1時間以上という回答が50%で、昨年度より20%向上し全道、全国の平均値と同等になった。
- ・1日のゲーム時間について、2時間以上と答えた児童は73%で、4時間以上は33%という回答となった。
- ・上記の2点を合わせ、睡眠不足などの健康面での弊害も考えつつ、ゲーム時間を減らし、ICT機器を活用しながら家庭学習の充実を図る。